

両国港湾局による地震・津波対策に係る連携強化の概要

1. 目 的：地震及び津波防災分野における政策、技術及び行政経験の共有
2. 協力内容：地震津波被害を軽減する考え方・施策、港湾施設の技術基準、地域における地方政府等との連携、防災に係る技術 等
3. 協力方法：年1回程度日本かチリでハイレベルの会合を開催し情報交換を行う。
協力期間は2016.3迄、その後は検討。

「津波に強い地域づくり技術の向上に関する研究」(SATREPS)の概要

日本側研究メンバー【代表機関：港湾空港技術研究所】

関西大【WG2】、京都大、群馬大、静岡大、筑波大、東北大、徳島大、名古屋大、防衛大、山口大【WG4】

大学

港湾空港技術研究所【WG1】、
気象研究所、
海洋研究開発機構【WG3】、
国土技術政策総合研究所

研究所

国土交通省港湾局

政府

国際協力機構(JICA)
科学振興機構(JST)

ドナー

SATREPSチリプロジェクト(2012.2-2016.3)

目標：津波脆弱地域において津波に強い地域・市民を作るための技術が開発される。

WG1：津波被害推定技術開発

WG2：被害予測手法と被害軽減対策の提案

WG3：高い精度の津波警報手法の開発

WG4：災害に強い市民・地域づくりのプログラムの提案

津波時の行政の役割や地震津波対策の技術基準など定期的に様々な意見交換等を実施

大学

研究所

政府

コンセプション大(UdeC)【WG4】、
チリ大(UC)、バルパライソ大(UV)、
チリ・カトリック教皇大(PUC)【WG1】、
バルパライソ・カトリック教皇大(PUVC)、
コンセプション・カトリック大(UCSC)、
フェデリコ・サンタマリア大(UTFSM)【WG2】

国立水理研究所(NHI)

公共事業省(MOP)港湾局(DOP)
運輸通信省(MTT)
内務省国家緊急対策室(ONEMI)
水路海洋部(SHOA)【WG3】

チリ側研究メンバー【代表機関：チリ・カトリック教皇大学】

【】は各WGの取りまとめ役